

理美容師さんは訪問先のお風呂場や台所でシャンプーをするのが不慣れです。

本来、理美容師はとてもしャンプーが上手です。特に 40～50 代の理美容師は新人見習いの頃に体で覚えたので何年経っても体は忘れません。

しかしながら、訪問先のお風呂場や台所で前かがみのお客様を洗う時は理美容師さんの持っている技術を充分に発揮する事が難しいのです。お客様の首が不安定な為に力が入らず、気持ちの良いシャンプーを提供できません。化粧等をしている場合は前かがみでのシャンプーは不向きです。

<一般的美容室でのシャンプーの流れの説明>

- ①お客様をシャンプーブースに案内し、シャンプー椅子に掛けてもらう。
- ②クロスやタオルを掛けて椅子を後ろに倒し、頭をシャンプーボールの中へ。
- ③シャワーを出して予洗をします。シャンプーの泡立ちを良くする為に、お湯で充分に髪と頭皮を濡らします。予洗で汚れの60～70%は落とせます。1分30秒前後
- ④両手にシャンプーを取り、ワンシャン(1度目のシャンプー)を行います。髪の汚れや余分な頭皮の皮脂等を取り除くシャンプーです。2分前後
- ⑤シャワーでシャンプーを洗い流します。1分30秒前後
- ⑥少量のシャンプーを取り、ツーシャン(2度目のシャンプー)に入ります。ここから理美容師の本領発揮の時です。

お客様に気持ちの良いシャンプーを味わってもらう為にマッサージ効果のあるテクニックを駆使し快感を提供します。

この場合シャンプーをしている美容師は前かがみの姿勢の為、腰にかなりの負担を感じてしまいます(サイドシャンプーの場合)。

- ⑦シャワーでシャンプーを念入りに洗い流します。泡立ちの良いシャンプーは活性剤を使用しているので、十分に流す必要があります。2分前後

- ⑧アルカリ性のシャンプーを使用している場合はここでリンスをします。

- ⑨余分なリンスを流して終了。

上記はごく一般的な美容室のシャンプー形態です。

お客様をご案内して終了するまでの所要時間は 10～13 分位です。

シャワーを使用している時間は5分位です。

毎分 10 リットルのお湯が出る場合は 5 分間で 50 リットルを使用することになります

訪問先で 50 リットルお湯を確保することは大変ですね

使用限度の 16 リットルのお湯で賄う方法を見つけ出しましょう

解決策の 1 つが椅子に座ったままシッティングリアーシャンプーをすることです。

頭皮のリンパ液の停滞や頭神経系のバランスを良くする事が出来、極楽気分が味わえます。

(流れ落ちないシャンプーが必要です)

問題はシャワーを使用している時間の5分間にあります。ここに注目

上記は 2000 年 3 月に記した文章です。

下記は 2021 年 10 月の文章です

この文章は楽シャン君を制作する為のポイント部分で、訪問理美容がカットだけではなくパーマやカラー・シャンプーの要望応えられる為にハード(器具用具)とソフト(洗髪方法テクニック)の完成を目指し作成しました。

ソフトに関してはそれぞれの理美容師さんの長年の経験したやり方があるので提案は出来ませんがこの方法がベストとは言えません。コロナの影響で全国の理美容師さんかなりの影響を受け困っています。でも感染低下により道が開けてきました。

2025 年問題も直ぐにやってきます。ヘッドスパ&マッサージケアシャンプーが皆様のお役に立つ時が来ました。

興味のある方は解決方法文章を個々にラインにて送ります。シャンプー方法やカラー・パーマの早業テクニックも……